

2010年4月13日
日本自動車調査月報副編集長 遠藤賢二

日本メーカーの2009年海外生産、米国を超え、初めて中国が最大に

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当社の調査・業務出版業務にご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、当社では「FOURIN 日本自動車調査月報 2010年4月号（2010年4月15日発刊）」にて、『日本メーカーの海外生産台数』をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内を申し上げます。

- 2009年の日本メーカーの海外自動車生産台数は、前年比13.6%減の1,083.8万台
- 中国生産台数が米国生産台数を上回り、中国が日本メーカー最大の海外生産国に
- 2009年はインド、中国において増産したスズキが自動車メーカー12社のうち唯一の前年比増
- 2010年以降は新興国におけるトヨタ、日産、ホンダの低価格車生産が本格化する見通し

日本メーカー12社の2009年海外自動車生産・組立台数(各国自動車工業会及び各社広報データをベースとしてFOURINが独自に集計、一部KD組立台数はダブルカウント)は、アジア・大洋州地域で前年比1.4%増の589.6万台と生産を維持したものの、北米で同24.3%減の315.8万台、欧州で同34.7%減の124.8万台となり、全体で同13.6%減の1,083.8万台となりました。中国、インドで政府による新車購入支援策の導入により、日本メーカーの現地生産小型車の需要が拡大したことに伴って、両国では日本メーカーの生産拡大が顕著でありました。中国における日本メーカー9社(生産データ未入手のUDトラックを除く)の乗用車生産台数においては、同21.1%増の233.6万台となり、2008年まで日本メーカー最大の海外生産国であった米国を初めて上回っています。

2009年日本メーカー12社の世界生産・組立台数をメーカー別に見ますと、インドと中国で前年から約3割近く増産したスズキが前年生産実績を上回りましたが、その他11社は全て前年生産実績を下回っております。海外生産が比較的小規模であるマツダ、ダイハツ、富士重、日野は減少率を一桁台に抑えたものの、トヨタ、日産、ホンダ、三菱自は前年比10%超の、いすゞ、三菱ふそう、UDトラック(旧日産ディーゼル)の商用車3社は同30%以上の減少となりました。2010年以降はトヨタ、日産、ホンダが新興国における低価格な世界戦略小型車の生産を開始する計画で、中長期的に見て新興国における生産拡大が続く見通しであります。

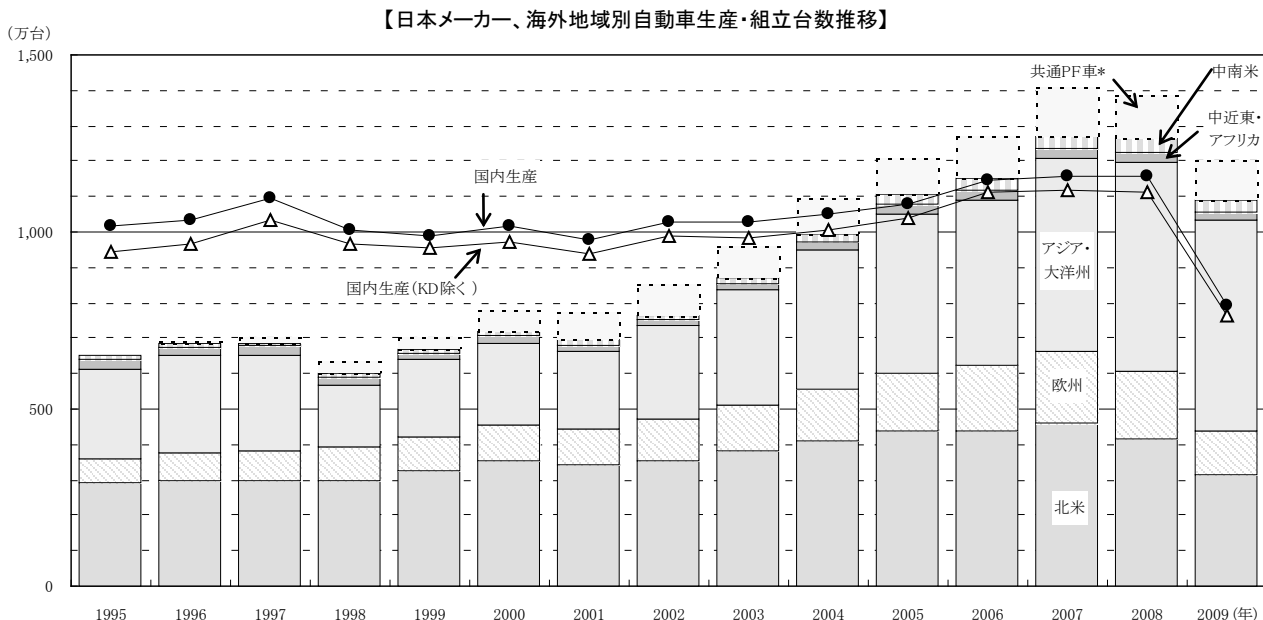
同レポートは全11ページですが、1ページのみを添付いたしました。全レポートをご覧になりたい場合、または同レポートに関して、ご不明な点やご質問がありましたら、「FOURIN 日本自動車調査月報」副編集長の遠藤(TEL : 052-789-1184、FAX : 052-789-0968、E-mail : k.endo@fourin.com)までご連絡下さい。御希望ならばPDF版も用意いたしております。

謹白

2009 年日本メーカー海外生産は アジアで拡大も欧米での減産が影響し 13.6%減

日本メーカー12社の2009年海外自動車生産・組立台数(各国自動車工業会及び各社広報データをベースとしてFOURINが独自に集計、一部KD組立台数はダブルカウント)は、アジア・大洋州地域で前年比1.4%増の589.6万台と生産を維持したものの、北米で同24.3%減の315.8万台、欧州で同34.7%減の124.8万台となり、全体で同13.6%減の1,083.8万台となった。中国、インドで政府による新車購入支援策の導入により、日本メーカーの現地生産小型車の需要が拡大したことに伴って、両国では日本メーカーの生産拡大が顕著であった。

2010年以降も米国や欧州における急速な需要回復は期待できないことに加え、日本メーカー各社は低価格な世界戦略小型車の生産を中国やインドなど新興国で行う計画であることから、引き続きこれら地域における生産が拡大する見込みである。更に北米や欧州など先進国地域で需要低迷が長期化すれば、これら地域における生産体制見直しの必要性が高まる可能性がある。



注) 海外生産台数には一部KD組立台数を含み、国内生産台数とのダブルカウントになっている。2008年よりコロンビアの自工会統計が発表されなくなったため、自工会データを採用していたトヨタ、スズキ、三菱自、いすゞの2008/2009年の同国内生産台数は含まない。*共通PF車には、中国金杯客車(2001年以降、トヨタ車ベース)、韓国Renault Samsung(日産車ベース)、米国Ford Escape/Mercury Mariner/マツダTribute(マツダ)、米国Ford Fusion他CD3ベース車(マツダ)、韓国現代自Grandeurとトラック(三菱車ベース)、オランダNedCarのVolvo旧V40/S40とSmart forfour(三菱自)、ポーランドOpel Agila(スズキ車ベース)、米国GM Canyon/Colorado(いすゞと共同開発)、韓国Samsung商用車(UDトラック車ベース)を含む。

(各国自工会データ、各社広報データよりFOURIN作成)

【日本自動車各社、メーカー別地域別自動車生産/組立前年比増減台数・増減率(2009年)】

(単位:台)

| | トヨタ | 日産 | ホンダ | 三菱自 | マツダ | いすゞ | 富士重 | スズキ | ダイハツ | 日野 | 三菱ふそう | UDトラック |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|----------------------|--------------------|-------------------|---------------------|--------------------|
| 北米 | ▼266,389 (▼17.4%) | ▼251,992 (▼25.8%) | ▼388,702 (▼27.3%) | ▼40,517 (▼68.7%) | ▼43,063 (▼57.3%) | ▼1,502 (▼50.4%) | ▼8,644 (▼9.4%) | ▼12,392 (▼100.0%) | | ▼301 (▼9.8%) | | |
| 欧州 | ▼182,697 (▼26.1%) | ▼149,227 (▼27.4%) | ▼186,649 (▼66.5%) | ▼10,531 (▼19.6%) | | ▼13,855 (▼75.8%) | | ▼105,342 (▼36.8%) | 775 (10.5%) | | ▼16,164 (▼75.4%) | |
| アジア・大洋州 | ▼162,386 (▼9.0%) | 155,294 (28.9%) | 52,926 (6.2%) | ▼58,762 (▼14.2%) | 25,087 (9.7%) | ▼103,260 (▼30.2%) | | 213,684 (19.6%) | ▼20,966 (▼5.1%) | ▼3,208 (▼9.6%) | ▼15,620 (▼27.7%) | ▼2,821 (▼40.1%) |
| 中近東・アフリカ | ▼76,345 (▼42.6%) | ▼7,232 (▼15.6%) | | ▼1,171 (▼44.0%) | ▼2,087 (▼31.0%) | ▼18,388 (▼34.3%) | | 297 (6.0%) | | ▼364 (▼15.1%) | ▼769 (▼26.3%) | ▼2,261 (▼47.2%) |
| 中南米* | ▼7,452 (▼5.1%) | 13,592 (255.7%) | 4,463 (3.5%) | ▼6,714 (▼16.3%) | ▼2,733 (▼25.7%) | 3,514 (73.5%) | | ▼4,740 (▼100.0%) | ▼5,221 (▼69.9%) | | ▼333 (▼44.0%) | |
| 合計 | ▼695,269 (▼15.9%) | ▼239,565 (▼11.3%) | ▼517,962 (▼19.3%) | ▼117,695 (▼20.6%) | ▼23,435 (▼6.6%) | ▼133,491 (▼31.7%) | ▼8,644 (▼9.4%) | 91,507 (6.5%) | ▼26,137 (▼6.1%) | ▼3,873 (▼9.9%) | ▼32,886 (▼40.3%) | ▼5,082 (▼43.0%) |

*トヨタ、スズキ、三菱自、いすゞ、日野の2008/2009年のコロンビアでの生産/組立実績は不明なため、広報データを採用するマツダ、ダイハツの中南米の増減台数と増減率はコロンビア分を含まない形で算出。

(各国自工会データ、各社広報データよりFOURIN作成)